

## 活動報告

団体名	AAA アジア&アフリカ
活動名	熊本地震により被災した南阿蘇村の救援活動と復興支援活動
活動期間	2017年4月～2017年9月
活動の成果	<p>私たちは、平成28年4月16日、本震直後より熊本入りし、4月17日に孤立する南阿蘇村で独自の調査に基づき4月下旬より南阿蘇ヘルプセンターを開設、農業支援を中心に支援活動を行ってきました。南阿蘇村での緊急救援活動を平成29年3月31日で一区切りとし、震災から2年目に入る平成29年4月からは復旧の遅れている救援活動と共に、人手不足を補うための農作業のお手伝いを重点的に展開していく復興に向けた支援活動へ切り替えて活動しました。南阿蘇村にある約400軒の農家さんのうち約50軒の農家さんに対し、延べ参加者：1,604人（平成28年4月～平成29年9月30日）と他の団体に比べ少ない参加者でしたが、中小農家さんの多い南阿蘇村では機械でできない手作業が多くあり人力が一番効果的な支援となっていて、約120の案件をお手伝いさせて頂きました。8月末に長陽大橋が通行可能になり交通面の復旧が進んだので、観光客の戻りも期待でき、1日も早く復興して私たちの活動が必要なくなる日があることを目指してもう少し活動を継続していきたいと思えます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、第3回に続き第4回も当会の活動を採用して頂き、誠にありがとうございます。</p> <p>私たちが活動する南阿蘇村では、地震後2度目の農繁期を迎え、地震からの再建に向かう村民の方々のお手伝いをさせて頂いております。</p> <p>7月の大型台風により福岡県大分県も大きな被害を受けボランティアの参加者が思いの外減ってしまいました。</p> <p>崩落した阿蘇大橋の復旧はまだまだ先になりそうですが、昨年末に再開した俵山トンネルの他に8月末には長陽大橋が開通し孤立状態から幾分南阿蘇村へのアクセスが良くなり、復旧に向かえる状況は良くなってきました。地域の皆さんで協力し合って賄っていた農作業も地震被害の影響は、思いもかけないところに現れ、外からの人手の応援はまだまだ必要だと感じます。私たちの活動が必要なくなる1日も早い復旧復興を目指して、引き続きお力添えをお願いいたします。</p>

(活動のようす)

